

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
クロコノマチョウ	タテハチョウ科	比較的大型のジャノメ 地味すぎて目立たない	x	x	○	関東以南



生田緑地 7月下旬 ♂夏型



生田緑地 9月末 ♂秋型



生田緑地 9月末 ♀秋型



野川公園 終齢幼虫 6月中旬

生田緑地 前蛹 9月末



生田緑地 10月末



生田緑地 9月末 ジュズダマ 蛹(手前)と終齢幼虫

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草	食樹		発生回数/年			越冬形態					
ススキ、ジュズダマほか		2~3		成虫							

余り目立たない大型のジャノメチョウですが、薄暗い林を飛び、樹液・腐果などを訪れ花で吸蜜することはありません。

暖地の蝶で温暖化に伴い北上し生田緑地に定着し始めて随分時間は経ちますが、それほど増えているということもなく、むしろ見かけるのはまれです。幼虫はススキ、ジュズダマといったイネ科植物を食しますが一風変わった雰囲気の色、色合いです。

南方系のよく似たジャノメチョウにウスイロコノマチョウがいますが、このあたりには分布していません。



中野島 10月中旬 生田緑地で見つけた終齢幼虫を飼育した個体。飛翔力が怪しいので結局、バルコニーから飛ばすのはやめ  
生田緑地まで送ったうえで放した



ウスイロコノマチョウ 10月中旬 石垣島 観音崎 枯葉の中にとまられると見つかるのは不可能に近い